

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30 年 12 月 10 日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675800090
法人名	社会福祉法人 昭芳会
事業所名	グループホーム 芳明庵
所在地	始良郡湧水町般若寺358番地 (電話) 0995-75-4622
自己評価作成日	平成 30 年 10 月 15 日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/46/index.php</a>
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成30年11月16日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成13年に開設され、当初より利用者中心のケアに取り組み、社会福祉法人・昭芳会の理念である「生活主義」「五感主義」「よりよく生きる」を基本として、地域の中で暮らすことを大切に、玄関、居室の鍵は閉めないで、家族、地域の方々が気軽に入出りできるように開放的に行っている。自然豊かで温泉にも恵まれている居室は全個室であり、それぞれ自由に使い慣れた家具等を持ち込み、家族とゆっくり過ごすことができる。芳明庵は併設のつつはの園やデイサービスなどの利用者とも交流があり、職員も共通の認識の基で利用者を支えるシステムが出来ているので、緊急時の対応や災害対策も一緒に取り組んでいる。医療法人・昭芳会と共に在宅支援を強化しており、入居後も変わらない支援が出来るように行っている。職員は資格取得に側面から協力体制が出来ている他、研修会の参加や法人内の勉強会も積極的に行われ、個人の質の向上に取り組んでいる。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ ホームは、閑静な農村地帯の広大な敷地に同法人の特別養護老人ホームやディケアサービス事業所に隣接して設置されている。法人全体の情報の共有や協力体制が構築され、職員の研修や防災訓練等は合同で実施している。地域との交流については、地域行事へ積極的に参加し、法人主催のイベントには家族や地域の人々の来訪があり、また、高齢者福祉や介護保険等に関する相談の対応や災害時の避難所として受け入れる等、円滑な交流が図られている。

○ 管理者及び職員は、理念に沿って利用者の誇りや尊厳を大切にしながら思いや意向を把握し、利用者主体の笑顔に満ちた有意義な暮らしに取り組んでおり、日々の暮らしが生きがいのあるものとなるように、レクリエーション等は無理強いせず、利用者の意向を尊重した個別支援に取り組んでいる。協力医療機関との連携が密に図られ、日常的な健康管理や24時間医療連携の体制が構築されており、利用者や家族の信頼と安心感に繋がっている。

○ 管理者は、日頃から業務に対する意見や要望、また、職員の個人的事情等を把握して、業務の改善やサービスの質の向上に取り組んでいる。職員のスキルアップを図るための研修の実施や資格取得に対しては、法人の支援体制も整備され、外部研修の受講や勤務シフトには可能な限り本人の意向を反映するなど、働きやすい職場環境の整備に努めており、短期離職者はいない状況が続いている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	五感を感じてもらうために、季節ごとに居室等にしつらえを行っている。	法人全体の理念にホームの姿勢を、より具体的に判り易く記入して、朝礼時の確認や玄関への掲示で、意義の共有を図っている。朝礼や日頃のケアの中、援助会議等で、理念に関する研修の実施やケアの振り返り、意見交換を行って、理念に沿った支援の実践に日々取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ボランティアや地域の中学生等との交流を図っている。	利用者が地域と関わりながら生活できるように、地域の文化祭や運動会等の行事に積極的に参加し、法人主催の夕涼み会等のイベントには、多くの家族や地域の人々の参加が得られている。また、日常的に隣接のデイサービスの職員や利用者との挨拶を交わし、周辺の散歩や買い物、通院時に地域の人々と会話を楽しんでいる。家族や友人の来訪やボランティア、中学生の職場体験等を積極的に受け入れ、農産物を頂くなど円滑な交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議等で報告を行い認知症の理解を求めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年に5～6回開催してニュースレターなど活用し意見交換を行っている	会議は家族代表、民生委員、住民代表、町担当職員等が参加して年6回開催している。ホームの現況や行事、ヒヤリハット、外部評価の結果等の報告を行い、委員からは利用者のケアや地域の高齢者に関する意見や情報、防災に関する意見等が活発に出されている。職員は議事録で共有を図り、内容を検討してサービスの改善に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>入退居の報告や事故報告行っている。運営推進会議で状況報告行い、職員の研修報告、災害時の取り組みなども報告している。</p>	<p>町担当職員及び包括支援センター職員には、運営推進会議に出席してもらいホームの現状や取り組みを伝えている。町担当者とは介護保険更新や各種報告書の提出、ホームの運営やケアに関わる協議等を行って、助言・指導を頂くなど日頃から協力関係を築いている。町やグループホーム連絡協議会主催の会合や研修会に積極的に出席して情報や意見の交換に努め、サービスの向上に活かしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>定期的に身体拘束廃止委員会を開催したり。朝のミーティング時に話し合いをして取り組んでいる。事業所が日中は玄関や居室に鍵を掛けない、開放的な環境の中で生活されている。</p>	<p>身体拘束に関する研修を法人全体で計画的に実施し、委員会も定期的に開催して共通の認識を図っている。利用者の尊厳やプライバシーを大切に言葉づかいやケアの実践に日々努めており、不適切なケアに対しては、朝礼やその場で注意し合い、また、援助会議等で意見交換して改善に取り組んでいる。玄関等の施錠は行わず、対話や散歩の同行等で安定を図るなど、拘束のない自由な暮らしの支援に取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設内研修会で説明・研修行っている。日頃から言葉遣いが虐待に繋がる恐れがないかを職員と一緒に考えている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>法人全体で取り組んでいる</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用開始時に書面で時間を掛けて説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	毎月「芳明庵だより」と近況報告書、介護計画経過報告を送付している。面会時に意見を聞いたり要望を聞く機会を設けている	利用開始時に、利用者や家族から要望等を聞き取り、入居後は日々の会話や表情、仕草、独自のサイン等から意見や要望を把握している。家族の来訪時には、利用者のケアに関する記録を読んでもらい、また、運営推進会議、ケアプラン見直し時、家族会等で意見や要望等を聴取し、職員全員で対応を検討してサービスの改善に取り組んでおり、それらの状況は家族にも報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	法人全体の昼礼に理事長も参加して毎週行われ、話す機会がある。月1回の援助会議でも意見や提案を話す機会がある、	管理者は日頃より職員とのコミュニケーションに努め、業務の中や援助会議、個人面談等で業務に関する意見や要望、個人的な悩み等を把握し、業務改善やサービス向上に繋げている。勤務シフトや外部研修の参加等は可能な限り職員の希望を反映させ、資格取得に対しては法人の支援体制も整備されて積極的にバックアップする等、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回、職員が自分の目標を揚げたことに自己評価して賞与に反映できる機会がある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各種研修に参加出来るように年間計画を立てている。他の法人との交換研修も参加出来る機会がある</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に所属している。各支部の研修会など出来る限り参加している。</p>		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用開始時に「まるごとシート」を作成して本人・家族の要望を記入している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居申し込み書に家族が困っている事が記入できている。ケアマネージャーからの情報もある</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	医療と福祉の連携を行っている		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	「利用者中心のケア・利用者の立場に立って」などパーソンセンタードケアは開設当初から取り組んでいる		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	本人のニーズを家族と一緒に考えて、家族に出来る協力を得て本人の支援を行っている		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	出来る限り馴染みの美容室に出かけている	入所前の環境や生活状況等を「まるごとシート」で把握し、利用者の馴染みの人や場の情報を共有している。家族や友人の来訪時にはゆっくり過ごせるように細かに配慮し、電話や手紙の取り次ぎに努め、本人の希望に沿って散歩や買い物、外食、一時帰宅、美容室での整髪等を家族と協力して支援している。遠方の家族にも「芳明庵だより」や手紙で利用者の状況を伝えるなど、馴染みの人や場との関係継続に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の交流を考えて、食堂・リビングの環境を整えている		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も希望によって「芳明庵だより」の送付行っている。運営推進委員を継続して参加して頂いている		
<b>sannka</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時や介護計画更新時に確認行っている。情報・生活歴から本人の立場に立って考えている	利用者の思いや意向を日頃の支援の中で理解に努め、朝礼や援助会議等で共有して、利用者にとって最善のケアとなるよう取り組んでいる。その人らしい生きがいのある生活が過ごせるように、外出や趣味、余暇時間の過ごし方は、利用者の習慣や希望に添って個別の支援にも努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	「まるごとシート」を利用して生活歴の把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアマネージャーや利用していた居宅サービス事業所からの情報を得ている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画者も職員と一緒にケア行い、申し送り時に話し合いに参加し、情報を共有して介護計画作成に反映している。</p>	<p>本人及び家族の希望や主治医の意見、助言等を把握し、モニタリングや援助会議時の意見を基に、具体的で解りやすい介護計画を作成している。ケアの状況は「ケース経過記録」や「バイタルチェック表」等で共有し、本人主体のケアの実践に努めており、記録は家族にも閲覧してもらっている。定期的な見直しに加え、状態の変化時には計画の修正等を行って実状に即した支援に取り組んでいる。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日頃の様子を記録して情報を共有し実践行い介護計画作成に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>併設の介護施設の協力があるので協力体制がある。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議などの地域資源の情報を得る機会はあるが運営に反映することは少ない</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療を利用して医療機関と蜜に連携が取れている。	利用者の病歴等を把握し、本人・家族が希望する医療機関での受診を支援している。定期的な通院や訪問診療が実施され、専門医の受診は家族と協力して同行し、病状や受診結果等は家族と報告し合う等、密に連携を図っている。殆んどの利用者が入所前から協力医療機関を主治医としており、日常的に健康管理が徹底され、病状の変化や24時間連携体制も構築されて、利用者、家族の安心に繋がっている。	
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設の介護施設の看護師の協力や在宅診療の看護師の協力がある。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関と密な連携があるので早期発見・対応が出来ている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に主治医と終末期について話し合い、重度化になった場合は面談を持ってニーズに添った支援に取り組んでいる。	重度化や終末期の対応マニュアルを整備しており、入所時や必要に応じて本人や家族に説明して理解を得ている。利用者が重度化した時点で、主治医から病状が説明され、職員や関係者、家族は十分な話し合いを行い、可能な限り希望に添った支援を、主治医や家族と協力して取り組んでおり、これまで看取りも実施している。看取りに関する研修も実施してスキルアップや不安感の軽減を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	医療機関や消防署の協力を得て救急時の対応を学んでいる。	/	
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回併設の介護施設と協力して地震・火災の訓練を行っている	夜間も含む火災や風水害発生を想定した避難や消火訓練等を年2回、消防署の協力を得て実施し、その都度、結果を評価して改善に努めている。日頃のケアの中や援助会議時に避難経路の確認や報道された災害事例を基に意見交換する等、防災に対する意識は高い。法人全体で湧水町の利用者を支えるシステム作りがされ、災害時の避難場所として施設を提供している。法人全体でマニュアルや連絡網を整備し、スプリンクラーや自動通報装置の設置や、災害発生時の食料・飲料水も備蓄されている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室は個室でトイレ・洗面所があり、プライバシーは確保出来ている。職員の言葉掛けも人格を尊重している。	人格の尊重やプライバシーの確保、個人情報保護については研修の実施で周知を図り、常に配慮したケアの実践に取り組んでいる。利用者の習慣や思いを大切に、尊厳を損ねる言葉や対応を行わないように努めており、居室やトイレ、浴室等はプライバシーが確保された構造になっている。ケアに関する台帳等の管理も適切に取り扱われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉掛けに気をつけて本人が自分の意思を言いやすいように働きかけている。	/	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個々のペースに合わせたその人らしい生活が出来るように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	生活歴から得る情報でその人らしい身だしなみやおしゃれが継続出来る様支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みの物や季節に応じた食事を提供し、食事が楽しみになるようにしている。利用者の残存機能を活かして準備・片付けを一緒に行っている。	利用者毎の嗜好や摂取制限、形態等を把握し、法人の栄養士の助言を得ながら献立に反映させ、頂いた野菜等も活用して調理しており、職員も一緒に歓談しながら和やかに食事している。季節感のある食事や手作りのおやつ、外食、行事食、代替品の提供、餅つきや梅干し、干し柿づくりなど、食事が楽しみなものとなるよう工夫している。利用者毎に食事や水分の摂取量を把握し、口腔ケアもプランに沿って支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量を記録して水分量の確保に努め、バランスを考えた食事を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人の尊厳を重視してそのひとに合わせて口腔ケアを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握してトイレでの排泄が出来るよう支援している。	排泄チェック表で利用者毎の排泄パターンを把握し、可能な限りトイレでの排泄を支援しており、食事の摂取状況や水分補給、運動量等も把握しながら便秘の予防にも取り組んでいる。支援際には、羞恥心やプライバシーに配慮し、利用者毎に介護用品の工夫や支援方法等を介護計画に反映させて改善に取り組んでおり、失禁の減少やおむつ利用から布パンツでの対応が可能となる等の改善が見られている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	殆どは下剤に頼っているが、排泄チェック表を確認しながら飲食物にも工夫して予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	温泉であるのでいつでも入浴できる環境はある。個々に合わせた入浴を支援し、浴槽にも浸かれるよう器具を整えている。	利用者の健康状態を把握し、週2日温泉を利用した入浴を支援しているが、失禁など必要に応じて清拭や入浴で清潔を保っている。入浴の時間や温度、好みのシャンプー等は希望に添って柔軟に対応し、身体状態に応じて特殊浴槽やシャワーチェアを活用する等、ゆっくりと入浴を楽しめるように配慮している。入浴を渋る利用者には、時間の変更や声掛け等を工夫して、本人の意欲を待つように努めている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室が個室になっているので、その人に合った休息や安眠が取れるよう環境を整え支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬説明書をファイルしていつでも確認できる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物畳みなど現存機能を活かした役割を支援している。カラオケなどの気分転換も行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の希望に添った戸外の散歩や季節に応じた花見等計画して外出している。家族の協力ですぐに帰ったりされている	日常の関わりの中で利用者の外出への意向を把握し、天候や健康状態に配慮しながら希望に沿って散歩や買い物、一時帰宅、外食、ミニドライブ等の外出を、個別支援や家族と協力して取り組んでいる。また、車椅子対応の車を活用して、季節の花見やソーメン流し、外食等、全員での外出も実施して、利用者のリフレッシュを図っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人と家族の話し合いによって管理ができる人は小遣いを持っている。買い物やカット代の支払いなど必要時使えるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	事業所の電話は利用者が使用出来、家族から電話がある時は話が出来よう支援している。携帯電話を持っている利用者もいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の空間は落ち着いた生活ができるように工夫している。季節感を取り入れたしつらえして居心地よく生活できるようにしている。</p>	<p>ホーム全体が明るく余裕ある広さが確保され、リビングに畳のスペースやウッドデッキが設けてあり、テーブルセットやテレビ、ソファ等が利用者の動線や利便性を考慮して配置されている。周囲の景色や随所に飾ってある利用者の作品、活け花等から四季が感じられ、絵画も掲げられて和やかで落ち着いた雰囲気となっている。衛生管理や清掃、整頓等をチェック表の活用で徹底され、空調、異臭等にも細かに配慮して、気持ちよく過ごせる環境整備に取り組んでいる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングに気の合った利用者同士と一緒に過ごせるようソファを設置している。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に本人、家族と相談して馴染みのタンスや置物、写真など持って来て貰い、居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>	<p>各居室は、余裕のある広さに掃出し窓が設置され明るく落ち着いた雰囲気で、エアコン、ベッド、タンス、トイレ、洗面台が備えてある。利用者の心身の状況に配慮しながら整理整頓や清掃の支援に努め、安全で快適な生活の維持に取り組んでいる。利用者は使い慣れた寝具や机、家族写真、遺影、小物等を自由に持ち込み、また、自身の作品も飾って、その人らしい和やかで居心地の良い居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内外の環境整備は法人全体で取り組んでいる。建物内部は安全な生活が送れるよう環境を整えている。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない



66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない